2017.09.05 財務小委員会担当幹事作成

配布資料 47-1/47-2 別紙

[1] 平成 29 年度予算実績のうち旅費交通費について

①炉物理ロードマップ調査・検討 WG への旅費支給（予算額 40 万円：事業終了）

4 月 25 日開催	第 2 回幹事会	48,672 円
5 月 23 日開催	第 3 回全体会合	103,508 円
7 月 24 日開催	第 3 回幹事会	43,088 円
8 月 7 日開催	第 4 回全体会合	120,058 円
	支出合計	315,326 円（残額 84,674 円）

・・・・・・・＜1＞

②学生・講師の旅費補助（48 万円：事業終了(精算中)）※1 人あたり 8 万円を上限として支給

旅費補助を受けて発表を行う学生は発表資料に部会からの支援がある旨のクレジットを記載することを依頼

(1) 4 部会合同日韓サマースクール（韓国・大田）への講師 1 名、東工大学生 2 名の派遣

講師 1 名： 旅費・宿泊費で約 65,000 円程度を部会予算から支給(当初額*) ・・・・・・・＜2＞

*但し、台風 5 号の影響により国内交通機関の乱れによる予定変更があり、

新たな航空券と宿泊費の取得費用が発生（部会長承認済み、約 50,000 円） ・・・・・・＜2^+＞

学生 2 名： 旅費（学生は宿泊費かからない）のみ約 38,000 円×2 名のところ、一人 20,000 円は本部からの補助が充当され、残額の約 18,000 円×2 名を部会予算から支給予定。 ・・・・・・・＜3＞

(2) 日中韓炉物理会議（RPHA2017）（中国・成都）への学生 6 名の派遣

当初計画では 5 名に対し旅費+参加費の補助、2 名は参加費のみの補助予定であったが、参加費のみ支給予定の 1 名から辞退者が出たため、上記①の残金も充当して全員に旅費＋参加費補助とすることに変更。上限 8 万円としたが、実申請は一人当たり 7.7 万円を想定。

6 名(北大 2、東北大 1、東工大 1、阪大 1、京大 1) 約 7.7 万円×6 ≒ 460,000 円 ・・・・・・・＜4＞

全体収支（見込み）

＜1＞＋＜2＞＋＜2^+＞＋＜3＞＋＜4＞＝約 930,000 円（当初予算に対し約 50,000 円の予算超過）

[2] 平成 30 年度予算における日中韓炉物理会議（RPHA2019）日本開催に関する準備資金計上について

平成 31 年度には上記会合が日本で開催される予定であり、会場費や運営会社への手付金等が、参加費・広告費の徴収前に必要となるため、PHYSOR2014 日本開催時を参考として、90 万円を部会予算から一時拠出する予定である。